

第59回長久手市地域公共交通会議 議事録要旨

議 事 概 要	
会議の名称	第59回長久手市地域公共交通会議
開催日時	令和4年8月1日(月) 10時00分～11時15分
開催場所	長久手市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 (敬称略)	<p>15名中12名出席(五十音順)</p> <p>会長 樋口 恵一</p> <p>委員 岩井 貞典</p> <p>委員 大野 淳</p> <p>委員 大林 益英(代理出席)</p> <p>委員 児玉 朋孝(代理出席)</p> <p>委員 小林 裕之</p> <p>委員 坂井 敏也(代理出席)</p> <p>委員 佐藤 幸太</p> <p>委員 日比野 裕行</p> <p>委員 門前 健</p> <p>委員 山内 三奈(代理出席)</p> <p>委員 吉金 典晃</p> <p>説明員</p> <p>(Nーバス事業者) 暮らし文化部次長 嵯峨 剛</p> <p>安心安全課課長 久保田 直也</p> <p>同課長補佐 伊藤 弘憲</p> <p>同係長 水野 高志</p> <p>(事務局) 参事 橋倉 裕幸</p> <p>市長公室次長 浅井 俊光</p> <p>企画政策課課長 山本 晃司</p> <p>同課長補佐 安井 寛樹</p> <p>同主事 長谷川 千紗</p> <p>同主事 林 陽奈子</p>
欠席者氏名(敬称略)	<p>委員 河合 千佳(公募委員)</p> <p>委員 古賀 めぐみ(公募委員)</p> <p>委員 二宮 いずみ(公募委員)</p>
傍聴者人数	5名
会議の公開・非公開	公 開
審議の概要	<p>1 議 題 令和4年度公共交通市民アンケートについて</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 市内公共交通の利用者実績について ・リニモ・名鉄バス・Nーバス</p> <p>(2) 「長久手のりもの講座」について</p> <p>3 意見交換</p> <p>4 その他</p>

1 議題

令和4年度公共交通市民アンケートについて

(資料に基づき事務局より説明)

会 長

本議題の資料について、事前にいただいた委員の方からのご意見を受け、修正したものを、資料1及び添付の対応表にまとめている。

アンケート案問39について、公共交通と関連しない設問が多いのではないかとのご意見があったが、問39にある設問は、長久手市が本年度新たに作成したアンケートガイドラインにて本市が実施するすべてのアンケートの共通設問として定められており、除外不可能である。そのため、市民の方の公共交通利用状況や、ニーズ等を把握する設問の割合が少なくなることを御理解いただきたい。

資料をご覧になって、修正等ご意見はあるか。

会 長

アンケート案問7について、「利用していない方は問12へお進みください」とあるが、正しくは「利用していない方は問11へお進みください」かと思われるので、修正いただきたい。また、問12及び問18についても同様に修正する。

委 員

アンケート案に対し、事前に意見を提出しており、本会議資料で対応いただいているため、新たな意見はない。

委 員

先ほど会長がおっしゃったアンケート案問12で、リニモを利用しない方が進む設問番号以外に修正いただきたい部分はない。

委 員

アンケート案問21でタクシーを利用しない理由として、「希望する場所まで行けないため」という選択肢の記載があるが、タクシーは希望するところまで行けるという特性があることから削除する。

事務局

いただいた御意見に対し、対応させていただく。

委員

アンケートの回答方法として、用紙回答及びネット回答を併用することは確認したが、ネット回答が可能であることは、本アンケートに記載されていない。

事務局

平成29年に実施したアンケートの回答方法は、用紙回答のみであり、本アンケートについてネットでの回答が可能であるか本会議開催前まで検証していたため、資料の方へ記載をしていなかった。ネット回答の説明については、アンケート表紙に2次元コードを添付し、スマートフォンで読み取っていただくような方法を考えている。

委員

全体的に設問数が多い印象を受ける意見もあるかと思うが、他の市町村と比べてそれほど多いわけではないと考える。

大問11で回答者自身について把握する設問があるが、自身のことを回答したくない方もいると想定し、アンケート送付時点で把握可能な性別や年齢等は封筒を工夫するなどして回答いただかなくても把握できないかと考えたが、回答者自身について把握する設問は他に多数あるため、年齢や性別も併せて回答いただく必要がある。

本アンケートは無作為抽出であるが、回答者のバランス等どのような抽出方法とするのか。また、回収率の目標はあるか。

事務局

抽出方法について、コンピューター上での無作為抽出を予定しており、地域や年齢等偏りなく抽出可能であることを確認した。しかし、1世帯から複数人抽出される事例等が発生する場合には、調整させていただく。

アンケート回収率は、50%を目標としている。

委員

情報提供として、地域性や年齢など考慮している市町村もある。

回収率50%という目標は、高いように思う。他市町村の事例で回収率が高かった場合でも40%程度ではないか。

事務局

回収率の目標を50%とした理由について、平成29年に実施した公共交通アンケート回収率が50.1%であり、前回アンケートと同じ回収率を目標に設定した。

委員

アンケート回答方法について、仮に同一人物が用紙回答及びネット回答両方で回答した場合の対策はあるか。

事務局

今後、アンケートの表紙にID番号を付与し、ネットで回答いただく場合にID番号を入力いただくことで、重複回答を防止する対策を考えている。

委員

用紙回答及びネット回答の回答数の割合は、統計をとるか。回答方法の割合を年齢別等で整理するなどして、回答方法に関する需要等、把握可能か。

事務局

今回、二通りの回答方法でアンケートを実施するため、回答方法についても統計をとり、今後の参考としたい。

委員

設問数は若干多いという印象を受けるが、必要な項目は十分に満たされていると考える。アンケート回収率50%を達成いただきたい。

委員

長久手市の場合、平成30年度及び31年度に高齢者向けのデマンド型交通実証実験を実施したが、デマンド型交通の運行による新たな外出促進は見込めないとのことであった。そのことから、市民の方へデマンド型交通への理解が進んでいないのではないかという懸念があったが、デマンド型交通の説明が丁寧に記載されているため、追加の意見等はない。

委員

アンケートで出た結果をいかに有効活用するかが大事であると考えている。ジブリパーク開業による渋滞の悪化が懸念されるなか、今回のアンケート結果から、より多くの方に公共交通を利用いただけるような対策を検討できると良い。

委員

本アンケート案大問10で記載のある、デマンド型交通について、過去に高齢者を対象としたデマンド型交通実証実験を実施した結果を受け、今回改めてデマンド型交通に対する

市民の方のニーズ等を把握する目的でアンケートに記載した。

アンケートの他に、市民や利用者の方へヒアリングを行う等、実際に地域に出向いて意見を伺うことが必要である。

委員

アンケートの設問数については、ご意見をいただいているところであるが、問39についても公共交通との関連性等、多角的に分析していくことが今後の施策に繋がる。

会長

アンケート案問29について、公共交通全般又は各公共交通ごとの満足度を把握する設問としているが、公共交通全般についての項目を最初に記載すると、分かりやすくなる。

会長

今回のアンケートから、アンケートガイドラインが定める共通設問項目が追加され、平成29年度実施のアンケートに比べ、隣接市への移動に関する設問を省略したため、前回からの変更点等を記録として残しておく必要がある。

アンケートについて、委員の方のご意見を踏まえて修正させていただいたうえで、承認いただいたこととする。

2 報告事項

(1) 市内公共交通の利用者実績について

ア リニモ（資料2-1）

イ 名鉄バス（資料2-2）

ウ Nーバス（資料2-3）

（資料2-1、2-2、2-3に基づき、愛知高速交通㈱、名鉄バス㈱、安心安全課より説明）

会長

リニモについて、新型コロナウイルス拡大前の水準まで回復傾向にあるが、完全に回復していない要因はあるか。

委員

新型コロナウイルス感染症拡大によって学校が授業形態をリモート授業に変更したことにより、リニモ利用者数が減少したが、最近は対面で授業することが多く、新型コロナウイルス

拡大前の状況まで戻りつつある。その他では、観光目的での乗車が減っており、回復は難しいのではないかと感じる。

今年11月に開園するジブリパークでは、多くの観光客の方に乗車いただけると良い。

委員

ジブリパーク開園にあたり、リニモの増便等計画はあるか。

委員

リニモ利用者数が大幅に増加すると想定されるため、対策を講じているところではあるが、詳細についてはまだ検討中である。

会長

名鉄バスの利用者について、令和4年6月時点でコロナウイルス感染症拡大前の9割まで回復しているが、ダイヤは削減したままである。バスの乗せこぼし等、課題は出てきているか。

委員

乗せこぼしというような事例は起こっていない。また、便ごとに把握しているお客様の動向データを参考に、現ダイヤに設定している。

委員

Nーバスについて、他の自治体では令和3年度から令和4年度にかけてコミュニティバスの利用者数が増加しているのに対し、長久手市は減少しているが、要因は何か。

安心安全課

令和4年度から、65歳以上のNーバス運賃有料化を実施したことにより、一時的に利用者数が減少したが、最近は徐々に令和3年度の実績まで利用者数が増加している。

会長

他の自治体や、事業者からコロナの影響でダイヤが確保できないというような相談を聞くが、Nーバスに関して何か事業者から相談等あったか。

安心安全課

Nーバスの運行委託先である、名鉄バス名古屋営業所と随時確認を行っているが、Nーバ

スの運行に影響が出るほど課題は挙がっていない。今後も動向を注視しながら対応する。

会 長

タクシーの利用状況はどうか。

委 員

タクシーの利用者数について、昼間は、コロナ感染症拡大状況による利用者数の変化は少ないが、夜間は、コロナウイルス感染症の陽性者が増加するにつれて、利用者数が減少する。

現在猛暑日が続いているなかで、タクシーを利用される方が増加傾向にある。

(2) 「長久手のりもの講座」について

(資料に沿って事務局より説明)

会 長

イベントのプログラムとして、長久手市の公共交通を紹介する旨記載があるが、具体的などのような説明をするのか。

事務局

本市を走行するNーバス、名鉄バス、リニモ及びタクシーの魅力について、各公共交通の画像や運行経路と併せて説明する。

会 長

各公共交通の説明をする際、イオンモール長久手店が実施するクテポのような、公共交通を利用することによって得られるサービスを紹介する等、利用促進に繋がる説明も盛り込めると良い。

事務局

長時間にわたり、ありがとうございました。連絡事項として、次回公共交通会議は12月下旬頃、議題は公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を予定している。

以上